

特別篇

留学体験が保育の現場で力になる！  
オーストラリア保育留学制度について



**Q3** こども教育宝仙大学の  
国内の履修は  
どうなりますか？

**A** 免許・資格取得に必要な実習は  
3年次までに修了します

通常4年次に行う幼稚園での教育実習を3年次に行い、すべての国内実習を3年次で修了したうえで、オーストラリアへ出発します。そして帰国後に卒業と同時に、国内の幼稚園教諭1種免許、保育士資格を取得します。このため、留学予定者は、3年次から保育留学コースに進み、専用のカリキュラムを履修します。



よくある質問に  
お答えします！

**こども教育宝仙大学  
オーストラリア  
保育留学制度  
Q&A**

こども教育宝仙大学の本留学制度は、その教育内容が評価され、2022・2023・2024年度と3年連続で日本学生支援機構による「海外留学支援制度」(留学生に対し給付型奨学金が毎月支給される制度)に採択されました。

**Q4** 留学先での  
学費について詳しく  
教えてください。

**A** 大学4年次の学費を留学費用に充当

オーストラリアでの語学学校と保育コースの授業料は、本学に納めていただく4年次の学費を充当します。このため留学参加者は、他の学生と4年間トータルで学費は同じでありながら、国内外3つの資格取得と英語力の修得ができます(募集定員10名)。ただし、留学の渡航費、現地生活費、レジャー費等は別途必要になります。

**Q1** 留学希望者は、  
入学時から申請する  
必要がありますか？

**A** 2年次の12月までに参加申請すればOK

オーストラリア保育留学は、2年次の秋学期に希望者を募ります。そして3年次から保育留学コースに進み、留学予定者向けのカリキュラムを履修するなど留学に備えます。

**Q5** 留学先での  
滞在先や生活について  
教えてください。

**A** 最初はホームステイでその後はセレクト可能

最初の10週間程度は、Imagine Educationが斡旋する現地家庭にホームステイをします。その後はホームステイの継続、コンドミニアムやシェアハウスでの滞在を選ぶことができます。英語コースでは週5日間授業に参加します。その後、保育コースでは、週2日間、授業と実習に出席し、そのほかは自宅等で課題に取り組みます。現地では、Imagine Educationの日本人スタッフが留学生の相談に応じ、さまざまなサポートを行います。



**Q2** 留学期間と  
留学先について詳しく  
教えてください。

**A** 4年次の11ヵ月間 ゴールドコーストへ

3年次の2月から4年次の12月までの11ヶ月間、オーストラリアに留学します。留学先は、こども教育宝仙大学と2015年から姉妹校協定を交わしているゴールドコーストのImagine Education Australiaです。同校は、英語学校、保育の専門学校、保育園も経営していることから、すべてのプログラムをここで完結できます。まず、英語学校で15週間英語を学び、その後29週間の保育コースを受講します。同コースでは、160時間の保育実習(週2回)も体験できます(2024年5月現在)。



## 長期留学経験者

### 留学中



ことも教育宝仙大学 4年生  
柴山 怜さん(写真左)

日本での保育実習を通して、海外の保育を学びたいと感じ留学を決めました。語学研修ではスピーキングやグラマーのほか、保育コース進級のための補習も受けられます。授業で繰り返し勉強したおかげで、正しい文法でコミュニケーションがとれるようになりました。保育専門コースでオーストラリアの保育を学び、日本での保育に活かしたいと思います。



### 留学経験者

ことも教育宝仙大学 4年生  
菊池 恵梨奈さん

英語力とコミュニケーション能力が伸びました。相手に伝わるように話すことの大事さは、オーストラリアで多様な考え方や価値観に触れたからこそ得られた気づきだと思います。また、本当に困った時など相談できる人がいる大学のサポートも魅力のひとつ。安心できる環境だからこそ、さまざまなことにチャレンジし、積極的な留学ができました。



ことも教育宝仙大学  
HOSSEN COLLEGE OF CHILDHOOD EDUCATION

## オーストラリア保育留学の学びの流れ

	1st year		2nd year		3rd year		4th year	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
日本	保育の現場を知る		保育の現場を知る		保育実習、教育実習		オーストラリアでの保育実習	
オーストラリア	基礎ゼミ開始 幼児教育・保育・児童福祉に関する基礎・基本を学ぶ。幼稚園、児童養護施設等での観察学習も行う		2年ゼミ所属 隣接する宝仙学園幼稚園での体験学習や保育所見学を経て、2週間の「保育実習I(保育所)」に行く		留学ゼミ所属 「教育実習(幼)」、「保育実習I(施設)」、「保育実習IIかIII(保育所 or 施設)」に行き、免許取得のための実習を終える		留学ゼミ所属 卒業論文完成、卒業と就職 卒業論文指導	
						2月渡豪	12月帰国	
						語学研修 (15週間)	保育専門コース (29週間)	

# ことも教育宝仙大学 オーストラリア保育留学

ことも教育宝仙大学ではじまった「オーストラリア保育留学制度」。日本の保育士資格と幼稚園教諭一種免許状に加え、オーストラリアの保育士資格Certificate IIIも取得できる。



ことも教育宝仙大学

www.hosen.ac.jp  
住所：東京都中野区中央2-33-26  
TEL：03-3365-0267



## 3つのポイント

### オーストラリアの保育者資格 Certificate IIIを取得

11か月の留学期間に規定のコースを修了すると保育専門学校卒業レベルにあたるCertificate IIIの資格を取得可能。

### 国内の資格取得& 就職活動もしっかりサポート

4年次の長期留学に向け、通常4年次の必修科目や保育実習と教育実習を3年次までに修了できる。

### 4年間の学費内でオーストラリアでの留学が可能

語学学校+保育コースの授業料は、大学4年次の学費を充当する。渡航費や現地生活費は別途かかるが、他の学生と同じ学費で3つの資格取得と英語力習得が可能になる(2024年5月現在)。



約2週間の短期留学プログラムもある。英語研修のほか、保育施設での実習体験や、途中でレクリエーションも行う

加者は3年次までに国内全ての実習を修了するため、資格取得に影響が出ることはない。就職活動に支障が出ないよう、教職員やメンターにいつでも相談できる環境が整っている。「保育留学に参加した学生に対し、留学前後のEQ (Emotional Intelligence Quotient) の知能指数」を測定したところ、留学経験を通じて自分に対する自信やポジ

ティブな感情を自ら作り出し、それを活用し維持し続ける力がついたことがわかりました。なかでも、自分の知識や能力に自信を持ち、自分ならできると考えるセルフ・エフィカシーや、困難な目標の達成に向け、粘り強く意欲的に取り組む達成意欲が大きく変化しています」

そう語るのは、ことも教育宝仙大学の石川悦子学部長。保育留学コースでは、グローバルな視点をもった保育者を目指す。日本とオーストラリア両方の保育実習を経験することで、視野や活躍の場を広げてもらいたいという。多様性あふれる保育現場で経験を積み、さまざまな価値観に触れることは、今後の保育観に大きな影響を与え、インターナショナルプリスクールなど、幅広い職場で役立つだけでなく、海外で保育者として働くという選択も持てるようになるだろう。

オーストラリアへ保育留学。国内外で3つの免許・資格を取得

90年に渡り保育者養成に取り組んできたことも教育宝仙大学では、2025年度入学生より「保育」保育留学「ことも心理」の3コース制を導入する。1・2年次で保育の基礎や知識を身に付け、3年次よりコースを選択。より自分に合う教育を追求できるように。なかでも注目したいのが、4年間の在学中に日本とオーストラリアで学ぶ「保育留学コース」。留学をしても4年間で卒業できるように単位修得の仕組みが整えられており、留学先の授業料も大学4年次の学費が充当される。また、このコースでは国内の幼稚園教諭一種免許状と保育士資格に加え、オーストラリアの保育者資格Certificate IIIと、国内外で3つの免許・資格の取得を目指す。Certificate IIIは、オーストラリアのチャイルドケアセンター(保育園)などで働く際に必須となる資格。この資格を取得すると、チャイルドケアセンターでアシスタント保育士としてクラスを受け持つことができる。

オーストラリアへ留学するのは、3年次の2月から4年次の12月にかけて。3年次より留学に向けての準備が始まる。英語学習はもちろんのこと、現地の保育園実習ですぐに活かせるスキルを身につける。オーストラリアへ旅立つとき

には、日本の保育実習と教育実習が修了しているため、基本的スキルが身につけており、実習で得た子どもの発達理解や援助方法の知識が役に立つだろう。

国内外で経験を積むことで、選択肢の幅を広げてほしい

オーストラリアでは、まず15週間の語学研修を受け、英語力を伸ばす。その後、現地の保育園で週に2回実習を交えた保育専門コースを29週間受講する。語学研修は、午後は一般的な英語プログラム、午後はことも教育宝仙大学向けの特別プログラムとなっている。各自のレベルによってクラス分けされるため、会話や文法など個人の得意不得意を伸ばしたり補ったりしてくれる。また、一人ひとりに寄り添ったいいねいサポートも魅力のひとつ。保育留学コースを担当する松崎真実准教授は話す。「学生には留学中に月に2回給日記を提出させ、添削して返却します。日本語だけではなく、英語でも書いてもらいます。また、月に1回オンラインで全員が集合して情報交換などを行います。個人面談も月に1回行いますし、留学経験者によるメンター制度もあります。留学前から留学後まで、しっかりフォロー、サポートしていきます」

4年次を留学に充てるため、国内での資格取得や就職活動を心配する人もいるだろう。しかし、参